

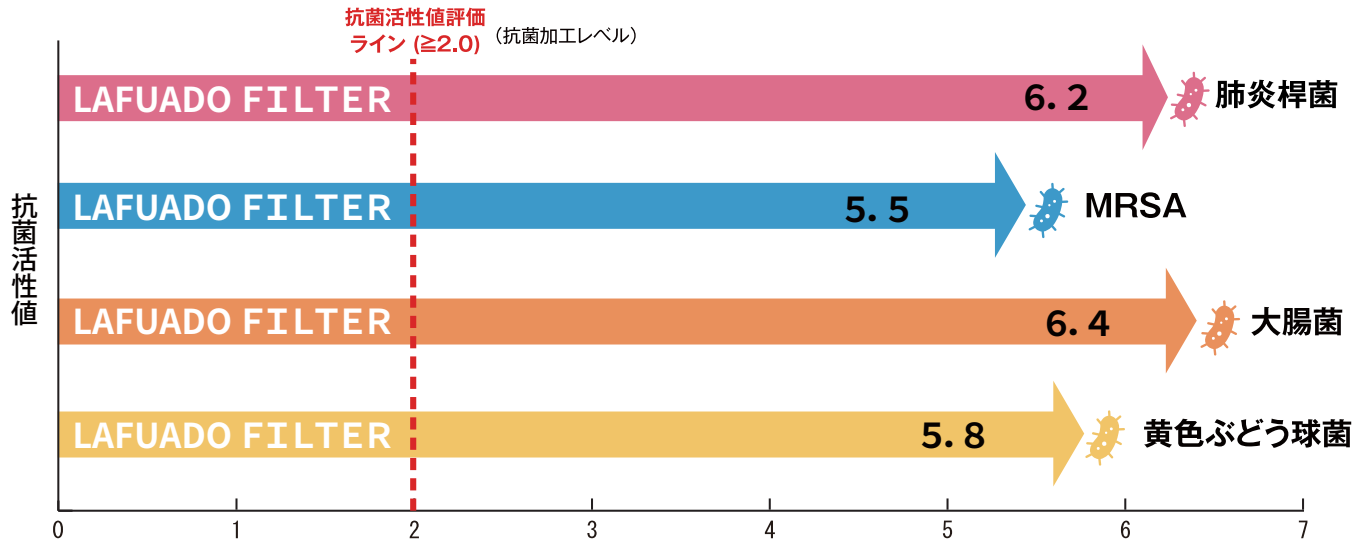
◆第三者試験機関での試験実施結果に基づいた記載。

抗菌性試験

・ JIS L1902 : 2015 菌液吸収法にて実施。

< 試験機関：一般財団法人ボーケン品質評価機構 >

生菌数の測定方法：混釈平板培養法 培養時間：18時間



< 試験機関：地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 >

・黄色ブドウ球菌 (Staphylococcus aureus NBRC12732) ・ JIS L1902 : 2008		
	接種菌数 cfu/mL	18時間後 cfu/mL
・標準白布	3,900,000	48,000,000
・LAFUADO FILTER	3,900,000	0 (検出限界以下) ※

※殺菌活性値=4.6

カビ抵抗性試験

・ JIS Z 2911 : 2010 にて実施。

< 試験機関：地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 >

<試験カビ> ・27℃ ・湿度約95%rh / 28日間実施

- ・ Aspergillus niger NBRC105649
- ・ Penicillium citrinum NBRC6352
- ・ Cladosporium cladosporioides NBRC6348
- ・ Chaetomium globosum NBRC6347

カビの発育	7・14・21・28日間	(カビの抵抗性) 結果
・LAFUADO FILTER	28日間経過	0 ※

※0 --- カビの発育は認められない。

消臭性試験

・ 検知管法 / ガスクロマトグラフ法 (試料10gにて実施)

< 試験機関：一般財団法人 ボーケン品質評価機構 >

< (一社)繊維評価技術協議会 SEKマーク繊維製品認証基準 準用 >

	臭気ガス	2時間後 減少率
・LAFUADO FILTER	アンモニア 100ppm	≧99%
	ノネナール 約14ppm	97%
	イソ吉草酸 約38ppm	≧99%

抗ウイルス性試験

[試験機関]：一般財団法人 ボーケン品質評価機構

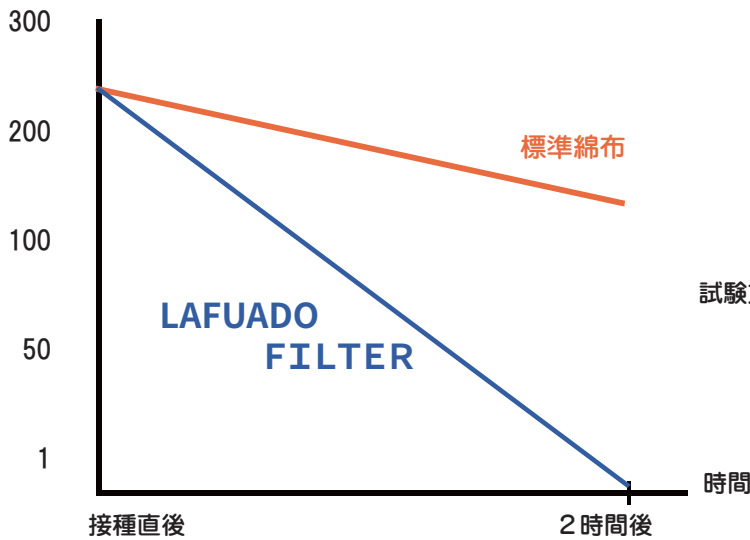
[試行項目]：抗ウイルス性能試験

[試験方法]：JIS L 1922：2016 Textiles-Determination of antiviral activity of textile products
ウイルス感染価の測定方法：Plaque assay

[試験ウイルス]：インフルエンザウイルス Influenza A virus (H3N2)：ATCC VR-1679

・インフルエンザウイルス		
	感染価の常用対数値	抗ウイルス活性値
・標準綿布 接種直後	6.38	-----
・標準綿布 2時間後	6.08	-----
・ラフエイド 2時間後	2.30以下	4.1以上

接種ウイルスの感染価
(PFU/mL：×10,000)



<参考数値 (×10,000)>

接種直後：数値=240

標準綿布：数値=120

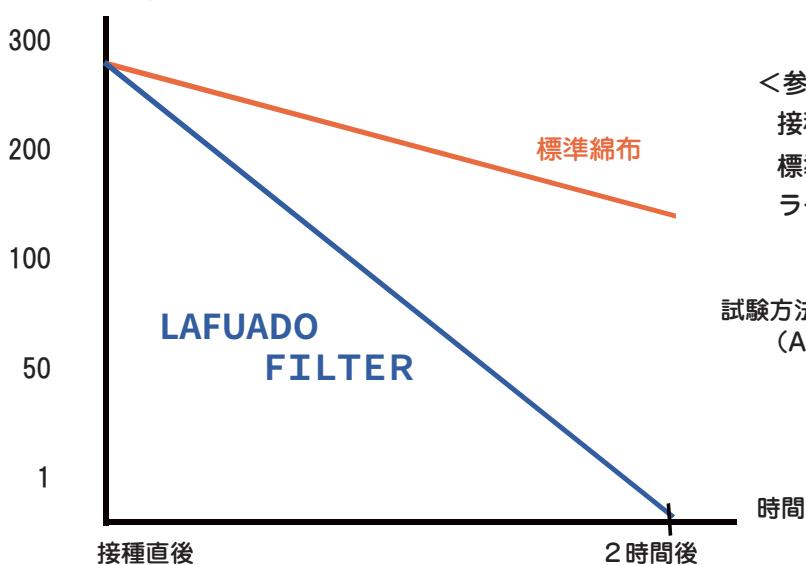
ラフエイド：数値≤0.02

試験方法/JIS L 1922：2016
(ATCC VR-1679)

[試験ウイルス]：ネコカリシウイルス Feline calicivirus：ATCC VR-782

・ネコカリシウイルス (ノロウイルス代替)		
	感染価の常用対数値	抗ウイルス活性値
・標準綿布 接種直後	6.45	-----
・標準綿布 2時間後	6.15	-----
・ラフエイド 2時間後	3.30	3.2

接種ウイルスの感染価
(PFU/mL：×10,000)



<参考数値 (×10,000)>

接種直後：数値=282

標準綿布：数値=141

ラフエイド：数値=0.2

試験方法/JIS L 1922：2016
(ATCC VR-782)